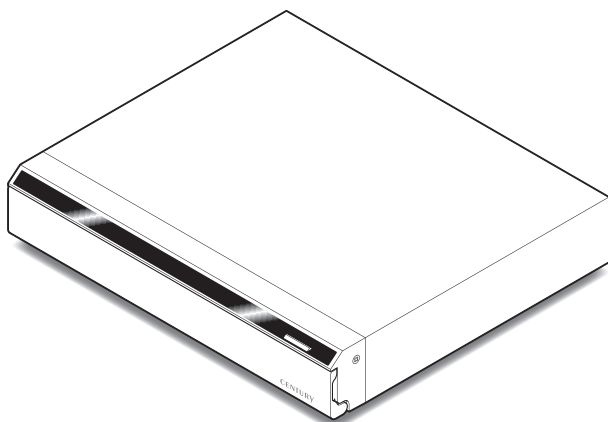


裸族の録りほ～だい

CRTD25/35U2 取扱説明書





【はじめに】

このたびはCRTD25/35U2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■ 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
|  警告 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。 |
|  注意 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。 |

警告

- 煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。
- 不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。
- 電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上には機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。
- めれた手で機器に触れない
めれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

注意

- 設置場所に関する注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
 - ・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 - ・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しづきのかかるところ
 - ・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
 - ・火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
 - ・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
 - ・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
 - ・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
 - ・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
 - ・直射日光のあたるところ
- 長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。
- 小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。
- 静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

| | |
|------------------------------|----|
| ■ はじめに | i |
| ■ 安全上のご注意 | i |
| ■ 特長 | 1 |
| ■ 制限事項 | 1 |
| ■ ご使用の前に | 1 |
| ■ 製品仕様 | 2 |
| ■ 製品内容 | 2 |
| ■ 各部の名称 | 2 |
| ■ 対応HDD | 3 |
| ■ 対応機種 | 3 |
| ■ 対応OS | 3 |
| ■ HDDの取り付け方法 | 4 |
| ■ ACアダプターの接続方法 | 9 |
| ■ 電源の投入方法 | 9 |
| ■ 2ポートUSBハブについて | 10 |
| ■ 冷却ファンについて | 11 |
| ■ それぞれの機器と接続する | 12 |
| ■ 東芝製液晶テレビ〈REGZA〉と接続する | 13 |
| ■ PlayStation3〈torne〉と接続する | 15 |
| ■ PCと接続する | 19 |
| ■ ハードウェアの取り外しについて | 20 |
| ■ 巻末付録1 ～領域の確保とフォーマット～ | 21 |
| ・ Windows 7、Windows Vistaの場合 | 22 |
| ・ Windows XPの場合 | 27 |
| ・ Macでの使用方法 | 31 |
| ■ 巻末付録2 ～困ったときは～ | 33 |
| ■ サポートのご案内 | 35 |

【特長】

- 東芝REGZAシリーズ、PlayStation3 torne の録画機能に対応！
※株式会社東芝および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの正式なライセンスを受けた製品ではありません。あらかじめご了承ください。
- SATA 2.5" HDDと3.5" HDDを1台ずつ搭載可能なHDDケース！
- HDDを入れてドアを閉めるだけ！ ビデオテープ感覚でHDDの交換が可能！
- リビングに置いても違和感のないAV機器風デザイン
- 外付けUSB HDDの増設に便利な2ポートのUSBハブ搭載！
- 省電力設計！ 本体連動機能、スリープ機能搭載！

【制限事項】

- ・本製品からのOS起動はサポートしておりません。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は2.5"/3.5" SATA(シリアルATA)HDD接続専用です。PATA(パラレルATA)HDDは接続できません。

【ご使用前に】

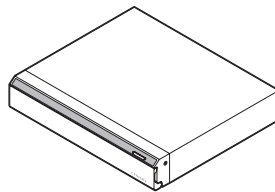
- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・Mac、MacintoshはApple Inc.の登録商標です。
- ・「PlayStation3」および「torne (トルネ)」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ・「REGZA」は株式会社東芝の登録商標です。
- ・記載の各商品、及び製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- ・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。

【製品仕様】

- 型番：CRTD25/35U2
商品名：裸族の録りほ〜だい
インターフェイス：【デバイス側】 SATA I / II / 1.5Gbps / 3.0Gbps
【ホスト側】 USB2.0
【USBハブ部】 USB2.0
USBコネクタ形状：【アップストリーム側】 レセプタクルBタイプ ×1
【ダウンストリーム側】 レセプタクルAタイプ ×2
冷却ファン：6cm角 3500rpm ± 10%（温度が35℃を超えると回転）
寸法：幅239mm×高さ41mm×奥行き205mm（突起部含まず）
重量：約930g
温度/湿度：温度5～35℃ / 湿度20～80%
（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）
消費電力：最大24W（HDDスタンバイ時 3W未満）
ACアダプター仕様：入力/100～240V、0.8A 出力/12V、2.5A
※ 本製品にHDDは付属していません。

【製品内容】

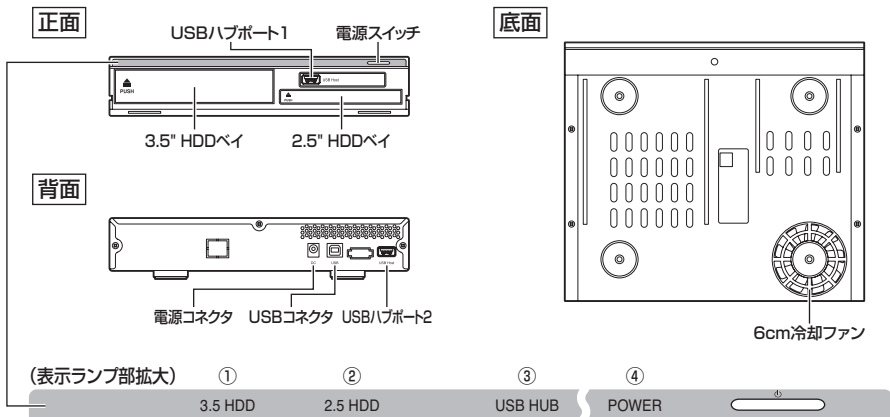
- ・ CRTD25/35U2 本体
- ・ 専用USBケーブル
- ・ 専用ACアダプター
- ・ 専用ACケーブル
- ・ 取扱説明書/保証書（本書）



CRTD25/35U2 本体



【各部の名称】



- ① 3.5" HDDが挿入されていると、青色に点灯します。また、HDDにアクセスするとピンク色に点滅します。
- ② 2.5" HDDが挿入されていると、青色に点灯します。また、HDDにアクセスするとピンク色に点滅します。
- ③ USBハブポートにUSB機器が接続されていると、青色に点灯します。
- ④ 電源をオンにすると青色に点灯します。

【対応HDD】

■ シリアルATA (SATA I / II)仕様の2.5"/3.5" HDD

- ※IDE (PATA)仕様のHDDは接続できません。
- また、PATA→SATA変換アダプターを使用しての接続は動作保証外とさせていただきます。
- ※4KBセクタ採用のHDD (WesternDigital Advanced Format Technology等) は正常に録画が行えない場合がございます。
- 購入前またはお手持ちのHDDについてご不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでご相談ください。
- なお、PCでの使用については問題ありません。
- ※2.5インチHDDは9.5mm厚専用となります。その他の厚さは使用できません。

【対応機種】

<東芝REGZA>

■ 録画用USBポートを搭載したREGZA (レグザ) 9000シリーズ以降のモデル

- ※録画機能を搭載していないモデルではご使用できません。
- ※録画で使用する際にはHDDを専用形式でフォーマットするため、PCおよびPlayStation3との共用はできません。
- あらかじめご了承ください。
- ※使用できるHDDの1台あたりの最大容量は2TBになります。(3.5" HDD 2010年9月現在)
- ※使用するHDDによっては正常に録画できない場合がありますので、常用する前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生のテストを行ってください。

<torne (トルネ)> ※本製品は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス製品ではありません。

- ※録画で使用する際にはHDDをFAT32形式でフォーマットする必要があります。
- ※FAT32フォーマットには、PCとの接続およびFAT32フォーマットを行うソフトウェアが必要になります。弊社ではFAT32フォーマットを行うソフトウェアの提供は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ※使用できるHDDの1台あたりの最大容量は2TBになります。(3.5" HDD 2010年9月現在)
- ※使用するHDDによっては正常に録画できない場合がありますので、常用する前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生のテストを行ってください。

<Windows>

■ USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)

■ CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

- ※intelチップセット搭載モデル推奨
- ※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

<Mac>

■ USB2.0インターフェイスポートを搭載したMacPro, iMac, MacBook, MacBookPro

- ※PowerPC搭載のMacintoshは動作保証外になります。

【対応OS】

<Windows>

■ Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit) / Windows XP (32bit SP3)

- ※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE / Windows 3.x / Windows NT / Windows Me / Windows 2000では動作しません。

<Mac>

■ Mac OS 10.5.8、10.6.4 (2010年9月現在)

- ※USB2.0ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。

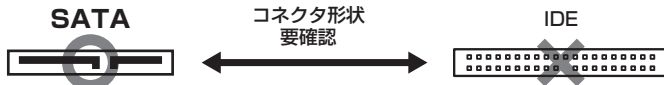
※ 製品の性質上、全ての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

【HDDの取り付け方法】

■ HDD接続の前に

- ・HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

本製品は **2.5インチ&3.5インチSATA HDD専用** です。 **IDE(PATA)HDDは接続できません。**



※注意

既にデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。



警告 ・HDDのコネクタやエッジで手を切らないように十分注意して作業を行ってください。



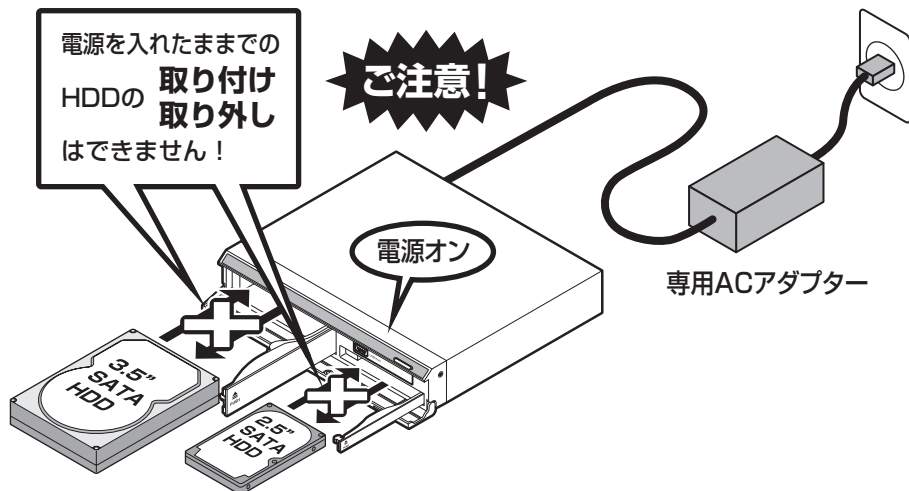
警告 ・本製品のケースや基板、HDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。



警告

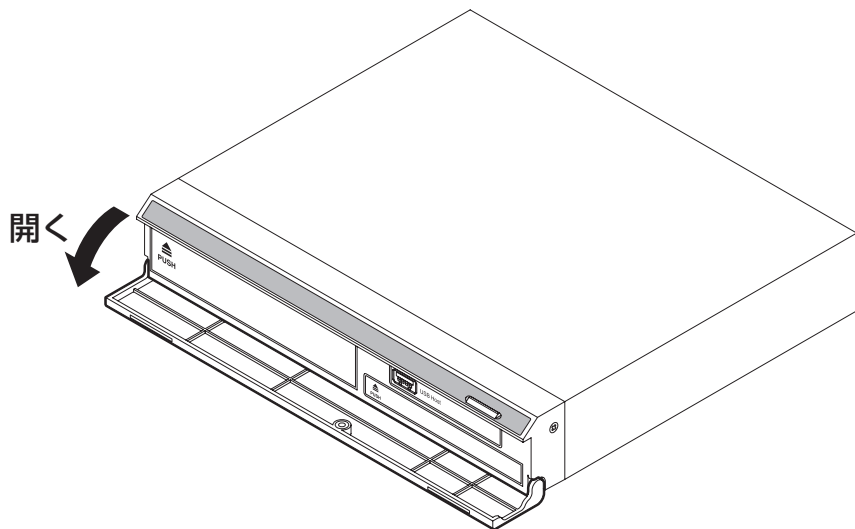
■ 接続及び電源投入の順序にご注意ください！！

- ・本製品はまずHDDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
- ・本製品のみ接続、または電源投入後のHDDの抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
HDD内のデータの破損や本製品または接続したHDDの故障の原因となる場合がありますので、絶対におやめください。

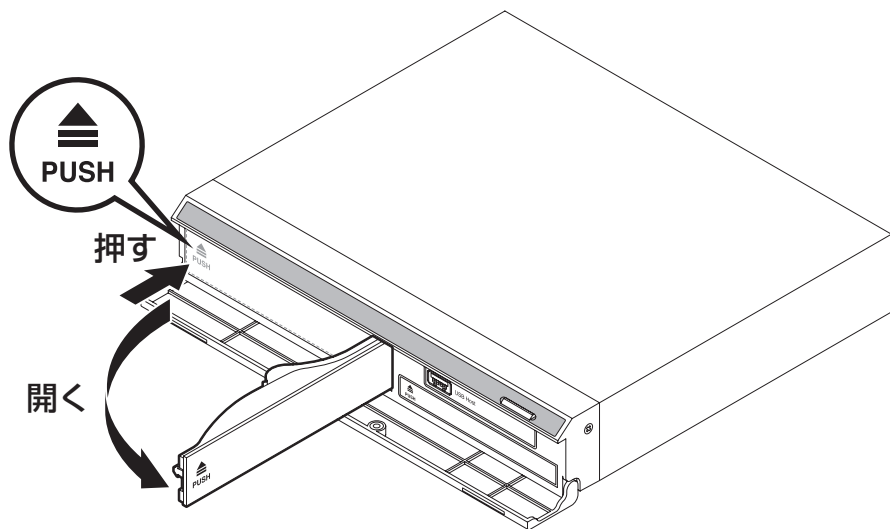


■ 3.5" HDDの取り付け方法

1. フロントパネルを開けます。



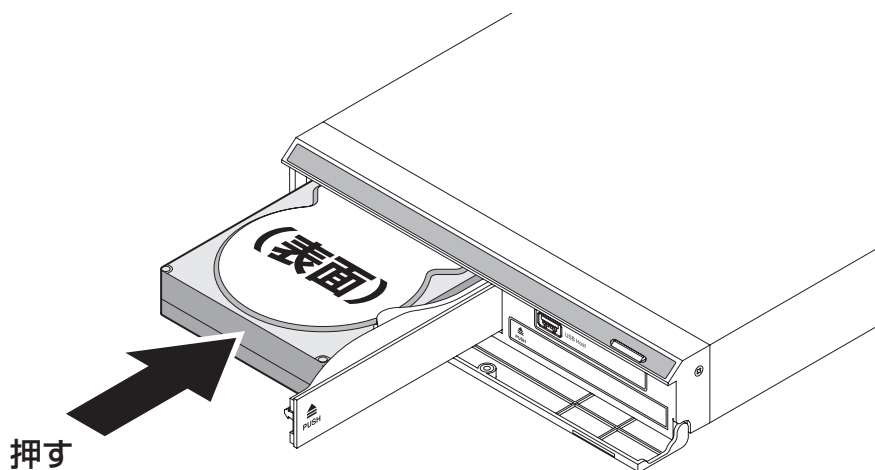
2. 3.5" HDDベイの「PUSH」と表示された部分を押し込むとドアが開きます。



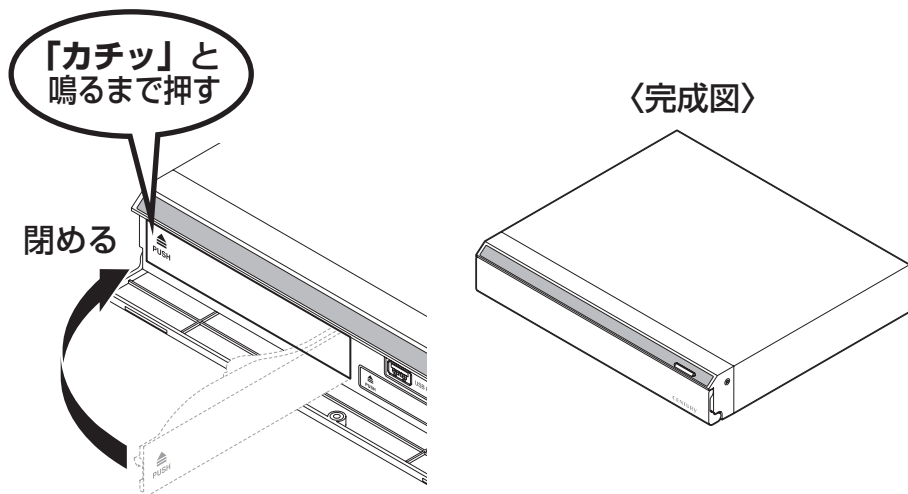
注意

本製品のドアに手を挟んだり、HDDのフレーム、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

3. ドアをいっぱいまで開き、図の方向にHDDを挿入します。



4. ドアの内側でHDDを押し込むようにしてドアを閉めると、「カチッ」という音がしてドアがロックされます。最後にフロントパネルを閉めて完了です。



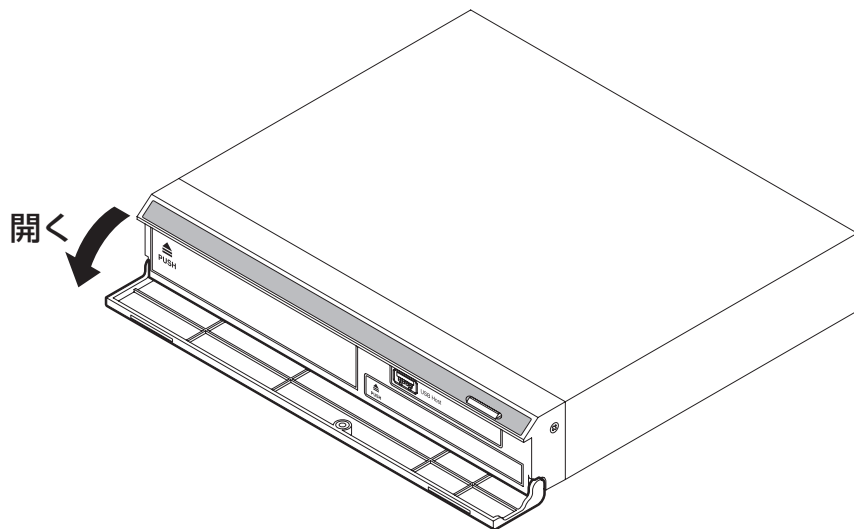
※HDDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

注意

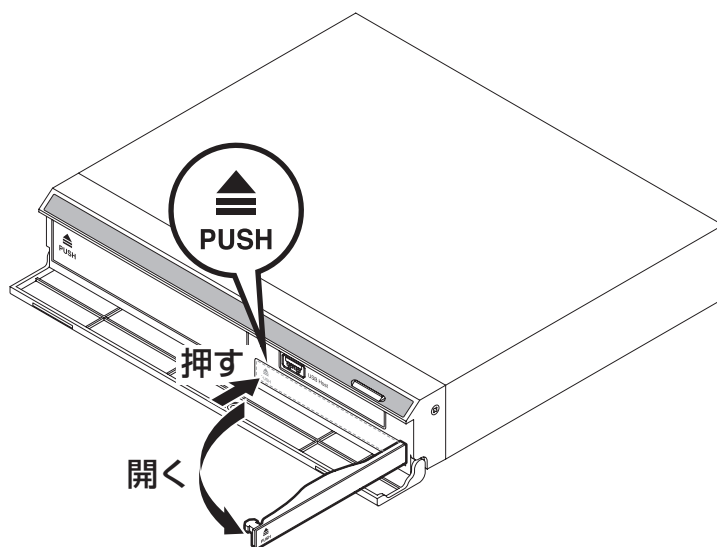
本製品のドアに手を挟んだり、HDDのフレーム、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

■ 2.5" HDDの取り付け方法

1. フロントパネルを開けます。



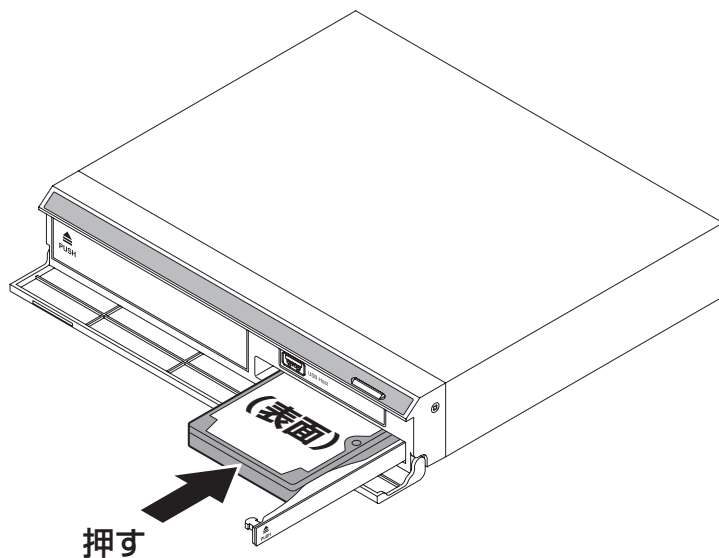
2. 2.5" HDDベイの「PUSH」と表示された部分を押し込むとドアが開きます。



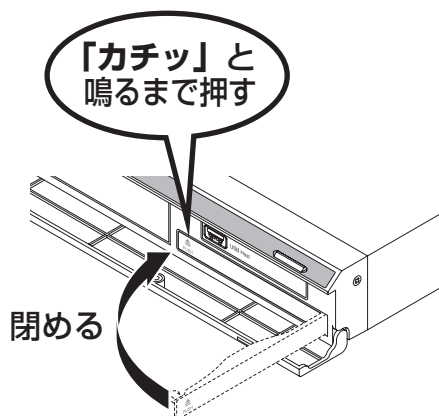
注意

本製品のドアに手を挟んだり、HDDのフレーム、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

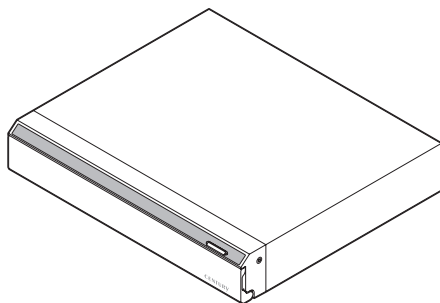
3. ドアをいっぱいまで開き、図の方向にHDDを挿入します。



4. ドアの内側でHDDを押し込むようにしてドアを閉めると、「カチッ」という音がしてドアがロックされます。最後にフロントパネルを閉めて完了です。



〈完成図〉



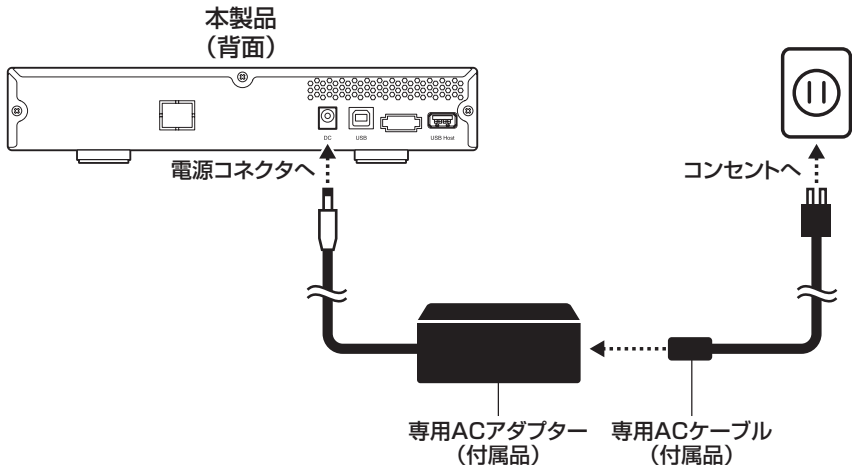
※HDDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

注意

本製品のドアに手を挟んだり、HDDのフレーム、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

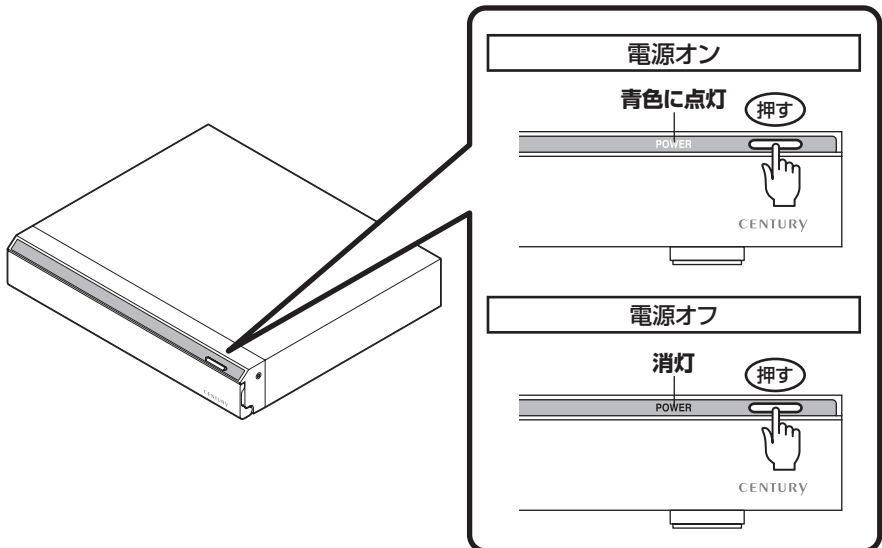
【ACアダプターの接続方法】

本製品と付属のACアダプターを図のように接続します。



【電源の投入方法】

電源スイッチは1度押すと電源がONになり、電源ONの状態でもう1度押すと電源がOFFになります。



【2ポートUSBハブについて】

本製品は2ポートのUSBハブを搭載しているため、外付けUSB HDD等のUSBデバイスを最大2台まで増設することができます。

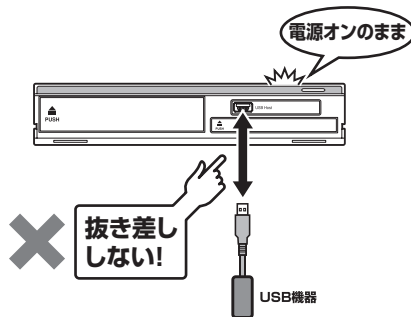
また、本製品のUSBハブは電源部をHDDと共用しておりますので、USBデバイスの抜き差しを行う場合には注意が必要です。

ご利用の前には以下の注意および制限事項を必ずご確認ください。

■ 大きな電力を使用するUSBデバイス（USB HDD等）はホットプラグしない

お使いのHDDや環境にもよりますが、本製品の電源がオンの状態で大きな電力を使用するUSBデバイスを抜き差しすると、一時的に電力がUSBデバイスに取られ、本製品に内蔵したHDDへの電力が弱まってしまう場合があります。結果として、内蔵したHDDの回転が停止したり、エラーが発生する等の症状が発生する可能性があります。

このような場合は、本製品の電源を入れる前にあらかじめ接続しておいてください。



■ 機器の制限

USBデバイスによっては、USBハブ経由からの接続を推奨していない、あるいは動作保証していない製品がございます。本製品のハブも、全てのUSB機器の動作を保証するものではありません。

■ USBコネクタ取り扱いの注意

USBコネクタの抜き差しは、必ずコネクタ部を持って抜き差しを行ってください。ケーブル部を持って抜き差しを行わないでください。ケーブル自体の断線、および本製品や接続したUSB機器、クレードル接続したHDDの故障や破損を招く可能性があります。

■ セルフパワー動作

本製品のUSBハブ部分はセルフパワー（付属のACアダプターからの電力で動作）USBハブです。PCから供給されるバスパワーでは動作しません。ACアダプターを接続する必要があります。

【冷却ファンについて】

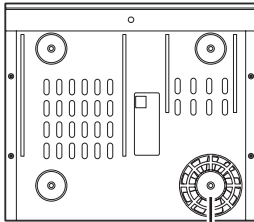
本製品は、底面に6cm角の冷却ファンが搭載されています。

ファンはHDDの温度をS.M.A.R.T情報から検知し、内蔵した2.5"または3.5" HDDのどちらかの温度が35℃を超えると回転が始まります。

HDDの温度が35℃を下回るとファンの回転が停止します。

また、電源オフ、本体連動機能やスリープ機能によりHDDの回転が停止した場合もファンの回転が停止します。

〈本体底面〉 (前部)



6cm
冷却ファン

冷却ファン HDDが35℃を超えると回転

回転が停止するのは…

- ✓ HDDの温度が35℃を下回ったとき
- ✓ 電源をオフにしたとき
- ✓ 本体連動機能が働いたとき
- ✓ スリープ機能が働いたとき

【それぞれの機器と接続する】

本製品はPCとの接続のほかに、東芝製液晶テレビ<REGZA>やPlayStation3<torne>に接続することで録画用外付けHDDとして使用できます。

注意・制限事項をよくお読みの上、接続を行ってください。

また、接続後の録画設定方法等はお手持ちの機器の取扱説明書をご確認の上、設定を行ってください。

各機器との接続方法

- ◆ 東芝製液晶TV<REGZA>と接続する P.13
- ◆ PlayStation3<torne>と接続する P.15
- ◆ PCと接続する P.19

【東芝製液晶テレビ<REGZA>と接続する】

本製品は東芝製液晶テレビ「REGZA（レグザ）」の録画用外付けHDDとして使用できます。

△ 注意

～ご使用の前に～

- ・本製品をREGZAで使用する際、組み込まれたHDDはREGZAの録画専用初期化されるため、PCおよびtorneとの共用はできません。
- ・既にPC等のデータが入っているHDDを使用する場合は、必ずバックアップを行ってから使用してください。
- ・本製品で使用できるHDDの最大容量は1台あたり2TBになります。（3.5" HDD：2010年9月現在）
- ・本製品は弊社にてREGZA R9000シリーズでテストを行い、正常に録画・再生ができを確認していますが、組み込んだHDDによっては正しく動作しない可能性があります。
継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・本製品のUSBハブをREGZAで使用する場合、接続できる機器は外付けUSB HDDのみとなります。USBメモリ等のUSBデバイスは接続できません。
- ・本製品にはUSBハブが内蔵されているため、REGZAと本製品の間に別のUSBハブを中継するとHDDが認識なくなります。USBハブを使用せず、直接本製品を接続してご使用ください。
- ・何らかの不具合が発生して録画ができなかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関わる直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ 接続方式

- ・USB接続

※LAN端子、eSATA端子には接続できません。

■ 対応機種

- ・REGZA 9000シリーズ以降

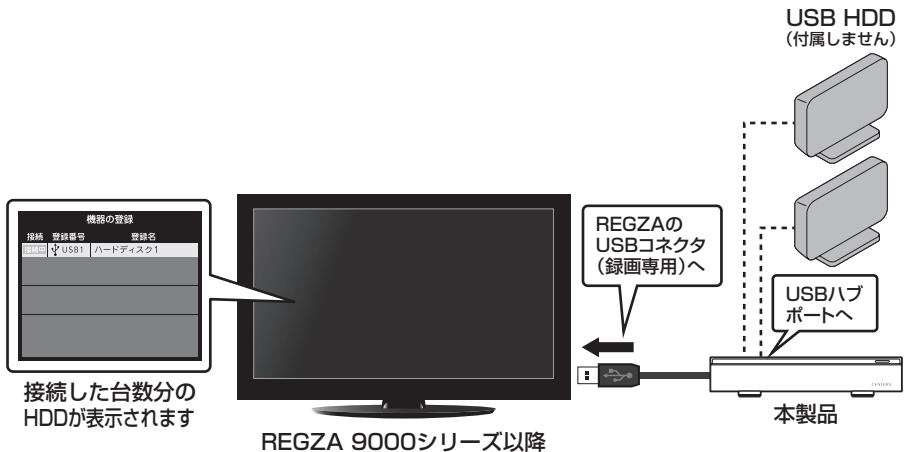
※REGZA自体に録画機能がないモデルには対応しません。

■ 接続方法

下図のようにREGZAと本製品を接続します。

※HDDの初期化方法、録画設定については、お手持ちのREGZAの取扱説明書をご確認ください。

※図中のUSB HDDはUSBハブポートへの接続例を示すもので、本製品には付属しません。



■ 本体連動機能について

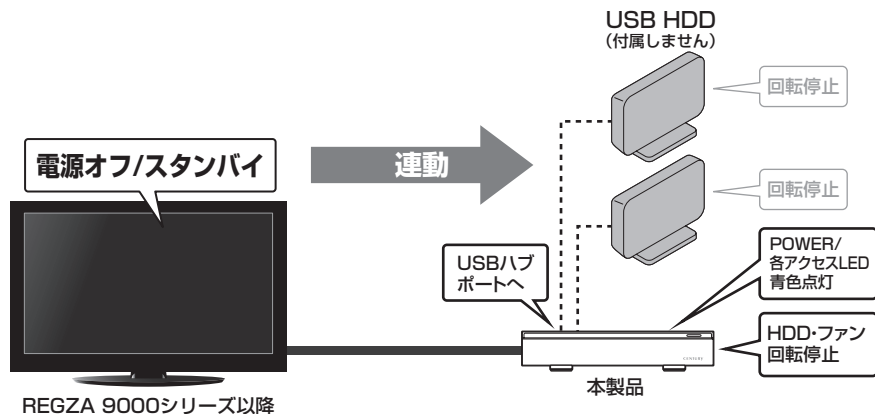
- ・REGZAの電源をオフまたはスタンバイにすると、本製品の内蔵したHDD、冷却ファンおよび、USBハブに接続したUSB HDDの回転が停止します。
- ・REGZAの電源をオンにすると、HDDの回転が再開します。

※図中のUSB HDDはUSBハブポートへの接続例を示すもので、本製品には付属しません。

※本体連動機能は本製品がスタンバイ状態になるため、常時3W程度の電力を消費します。

長時間使用しない場合は、本製品の電源をオフにすることをおすすめします。

※USBハブに接続したUSB HDDにつきましては必ずしも本体連動が機能するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。



■ 省電力モード時の本製品の動作について

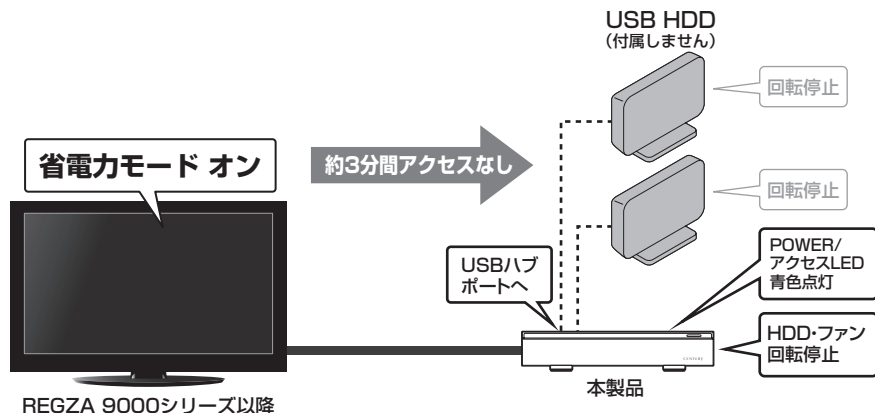
- ・REGZAの省電力モードをオンにして本製品を使用すると、一定時間（約3分程度）アクセスがない場合、本製品に内蔵したHDD、冷却ファンおよびUSBハブに接続したUSB HDDの回転が停止します。
- ・録画やHDDの設定を開始すると、HDDの回転が再開します。

※図中のUSB HDDはUSBハブポートへの接続例を示すもので、本製品には付属しません。

※省電力モード時は本製品がスタンバイ状態になるため、常時3W程度の電力を消費します。

長時間使用しない場合は、本製品の電源をオフにすることをおすすめします。

※USBハブに接続したUSB HDDにつきましては必ずしも省電力モードが機能するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。



【PlayStation3<torne>と接続する】

本製品をPlayStation3に接続して、地上デジタルレコーダークイット「torne（トルネ）」の録画用HDDとして使用できます。

必ずお読みください

■ 録画で使用する場合のHDDのフォーマット形式について

- ・本製品をPlayStation3およびtorneの録画用HDDとして使用する際、あらかじめHDDをFAT32形式でフォーマット（初期化）する必要があります。PlayStation3はフォーマット機能を持たないため、フォーマットを行うにはPCとの接続が必要になります。
また、フォーマットを行うとHDDの内容はすべて消去されますので、既にデータが入っている場合は必ずバックアップを行ってからフォーマットを行ってください。
- ・Windows PCの標準フォーマット機能では32GB以上のHDDのFAT32フォーマットができない（Windows XP）、またはFAT32フォーマットそのものがない（Windows Vista / Windows 7）ため、別途FAT32フォーマットを行うソフトウェアが必要になります。
弊社ではフォーマットソフトウェアの提供を行っておりませんが、インターネットの検索エンジンで「FAT32フォーマットソフト」等で検索をすると、FAT32フォーマットソフトウェアが表示されますので、それらをご使用の上、FAT32フォーマットを行ってください。
※フォーマット方法等はご使用のソフトウェアのマニュアルやヘルプをご参照の上、行っていただきますようお願いいたします。
- ・Mac OS搭載のMacの場合、標準のディスクユーティリティで「MS-DOS (FAT)」を選択して初期化を行うことでFAT32フォーマットが可能です。

△ 注意

～ご使用の前に～

- ・本製品をPlayStation3およびtorneの録画に使用する際、組み込まれたHDDをFAT32形式でフォーマットする必要があるため、REGZAとの共用はできません。PCとの共用は可能ですが、内容の混乱を避けるためにも、機器別にHDDを分けてご使用することをおすすめします。
- ・本製品で使用できるHDDの最大容量は1台あたり2TBになります。（3.5" HDD：2010年9月現在）
- ・本製品は弊社にてPlayStation3（CECH-2000A）およびtorne（Ver 2.0）でテストを行い、正常に録画・再生ができることを確認していますが、組み込んだHDDによっては正しく動作しない可能性があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・本製品にはUSBハブが内蔵されているため、REGZAと本製品の間で別のUSBハブを中継するとHDDが認識しなくなります。USBハブを使用せず、直接本製品を接続してご使用ください。
- ・本製品のUSBハブをPlayStation3で使用する場合、外付けUSB HDD以外にPlayStation3の周辺機器も接続可能ですが、すべての周辺機器の動作を保証することはできません。あらかじめご了承ください。また、外付けUSB HDD以外の記憶媒体（USBメモリ等）への録画はできません。
- ・何らかの不具合が発生して録画が出来なかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関わる直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ 接続方式

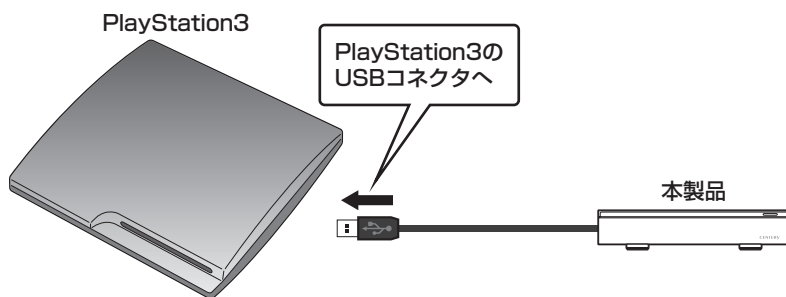
- ・ USB接続

■ 対応機種

- ・ PlayStation3 (CECH-2000Aにて動作確認済み)
- ・ torne (Ver 2.0)

■ 接続方法

下図のようにPlayStation3と本製品を接続します。



※録画設定については、お手持ちのPlayStation3およびtorneの取扱説明書をご確認ください。

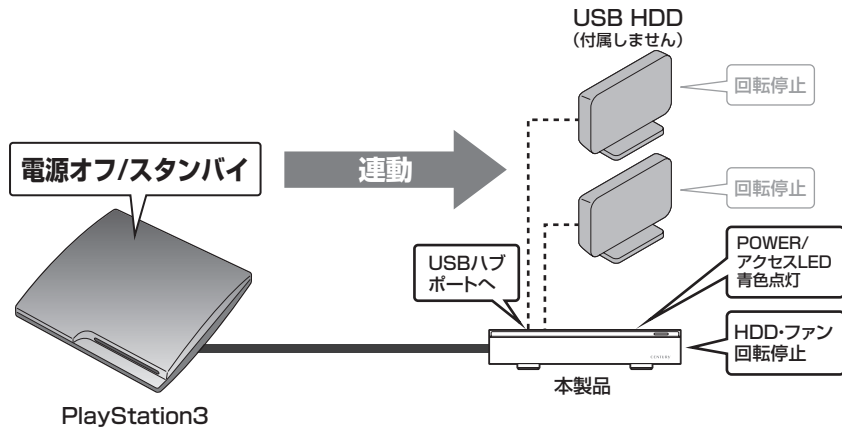
■ 本体連動機能について

- ・PlayStation3の電源をオフまたはスタンバイにすると、本製品の内蔵したHDD、冷却ファンおよび、USBハブに接続したUSB HDDの回転が停止します。
- ・PlayStation3の電源をオンにすると、HDDの回転が再開します。

※図中のUSB HDDはUSBハブポートへの接続例を示すもので、本製品には付属しません。

※本体連動機能は本製品がスタンバイ状態になるため、常時3W程度の電力を消費します。長時間使用しない場合は、本製品の電源をオフをすることをおすすめします。

※USBハブに接続したUSB HDDにつきましては必ずしも本体連動が機能するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。



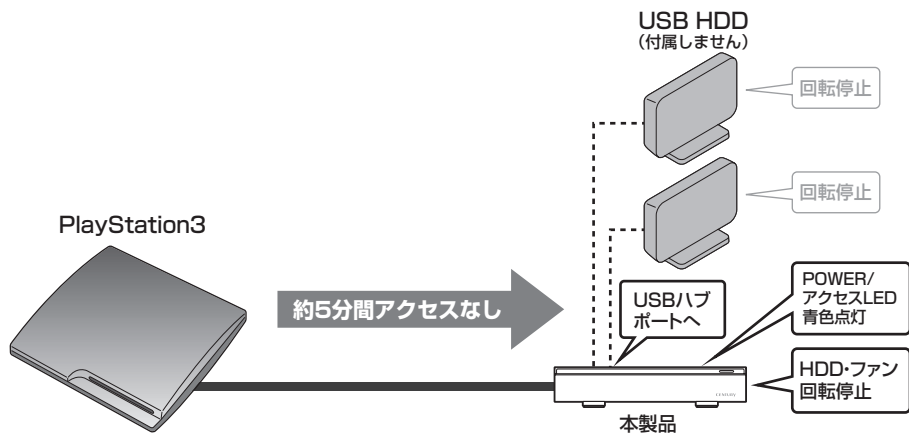
■ スリープ機能について

- ・本製品をPlayStation3と接続して使用した際、一定時間（約5分程度）アクセスが無い場合、本製品に内蔵したHDD、冷却ファンおよびUSBハブに接続したUSB HDDの回転が停止します。
- ・録画やHDDの設定を開始すると、HDDの回転が再開します。

※図中のUSB HDDはUSBハブポートへの接続例を示すもので、本製品には付属しません。

※スリープ時は本製品がスタンバイ状態になるため、常時3W程度の電力を消費します。長時間使用しない場合は、本製品の電源をオフにすることをおすすめします。

※USBハブに接続したUSB HDDにつきましては必ずしもスリープが機能するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

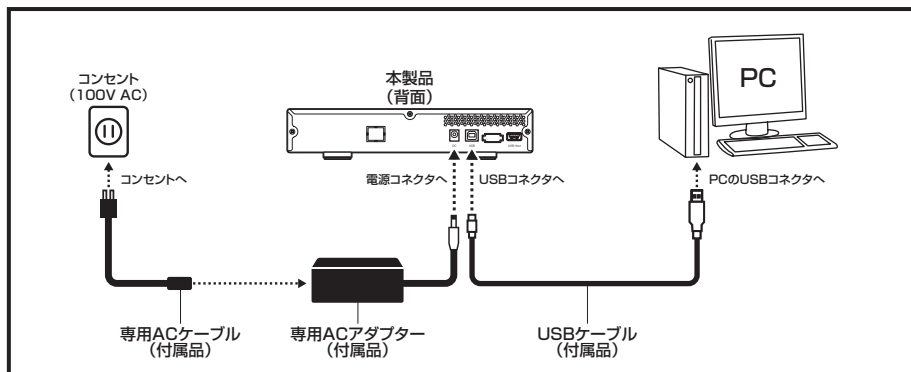


【PCと接続する】

下図のように本製品とPCを接続します。

※内蔵したHDDをREGZAの録画用に使用していた場合、そのままPCに接続するだけでは認識されません。再度PC用に領域の確保とフォーマットを行う必要があります。

領域の確保とフォーマットにつきましてはP.21【巻末付録1】「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

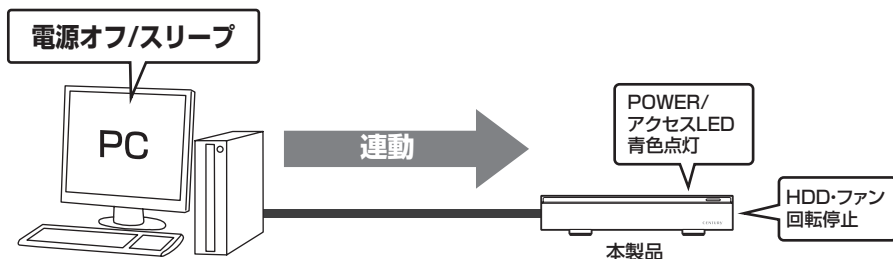


■ 本体連動機能について

- ・ PCの電源をオフ、またはスリープにすると本製品に内蔵したHDD、冷却ファンの回転が停止します。
- ・ PCの電源をオン、またはスリープから復帰すると、HDDの回転が再開します。

※本体連動機能は本製品がスタンバイ状態になるため、常時3W程度の電力を消費します。長時間使用しない場合は、本製品の電源をオフにすることをおすすめします。

※USBハブに接続したUSB HDD等の回転は停止しません。

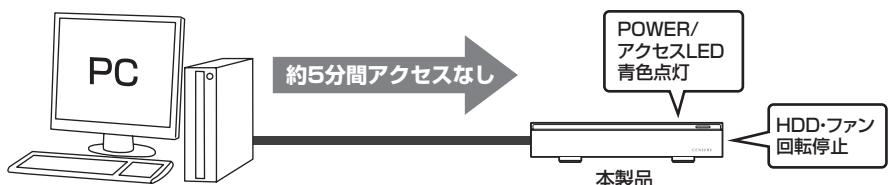


■ スリープ機能について

- ・ 本製品をPCと接続して使用した際、一定時間（約5分程度）アクセスが無い場合、本製品に内蔵したHDD、冷却ファンの回転が停止します。
- ・ 本製品のHDDにアクセスした時点でHDDの回転が再開します。

※スリープ時は本製品がスタンバイ状態になるため、常時3W程度の電力を消費します。長時間使用しない場合は、本製品の電源をオフにすることをおすすめします。

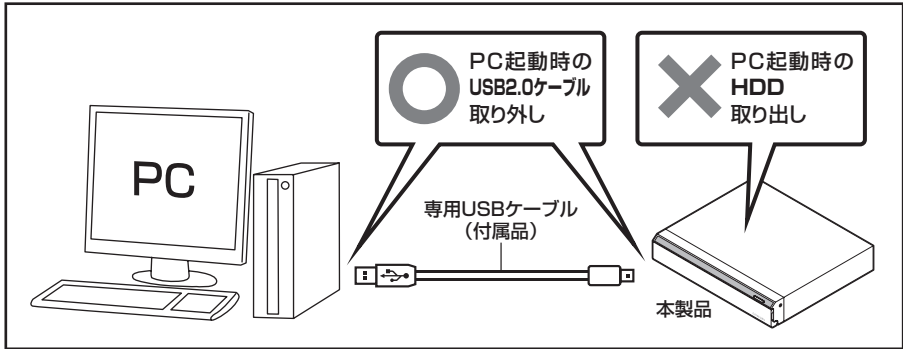
※USBハブに接続したUSB HDD等の回転は停止しません。



【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。



1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。……………
取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP …… USB大容量記憶装置デバイス
- Windows Vista …… USB大容量記憶装置
- Windows 7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。

「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

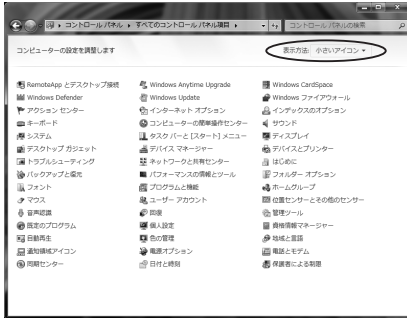
【巻末付録1】

領域の確保とフォーマット

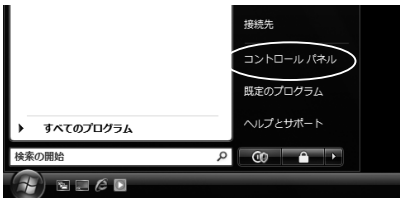
- Windows 7、Windows Vistaの場合 22
- Windows XPの場合 27
- Macでの使用方法 31

□ Windows 7、Windows Vistaの場合

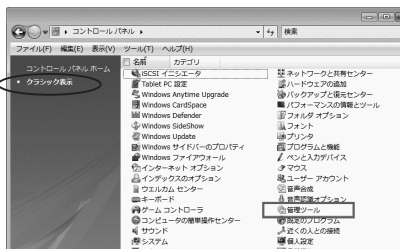
1.



【コントロールパネル】 → 【表示方法: 小さいアイコン】 → 【管理ツール】 (Windows 7)



【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】 (Windows Vista)



※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

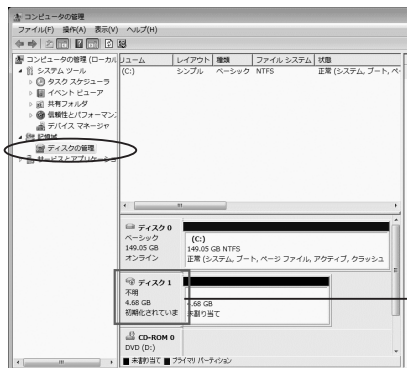
2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

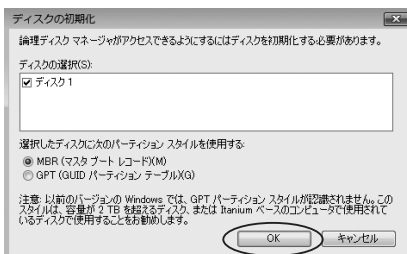
3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。



4.

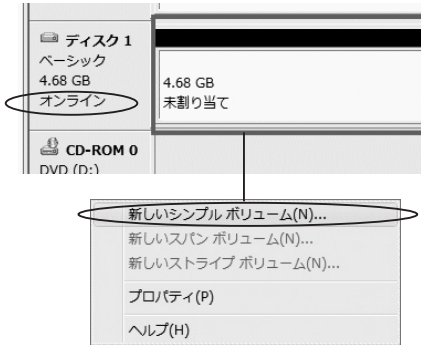


【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。
GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。
GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

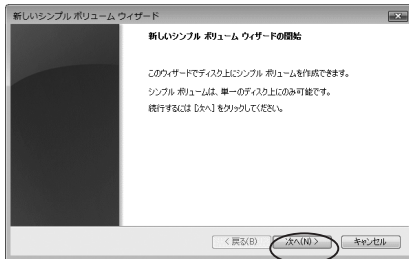
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

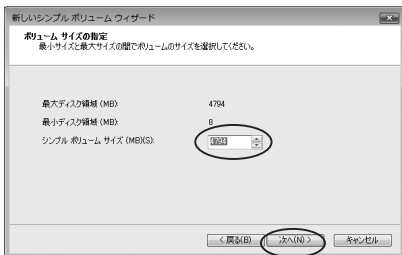
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



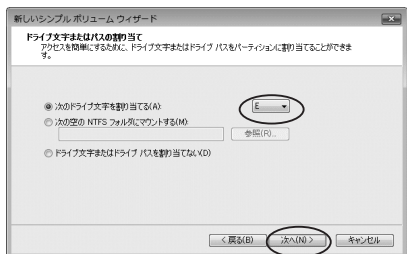
【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。

8.



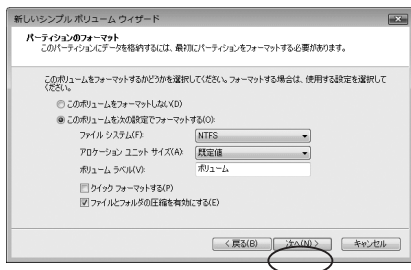
【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

これらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】 ウィンドウが表示されます。

・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をペリファイしませんが、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

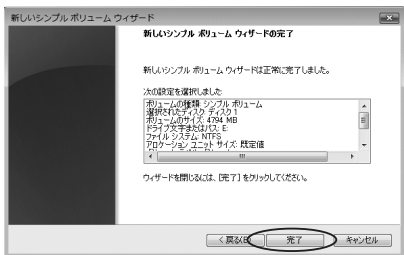
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

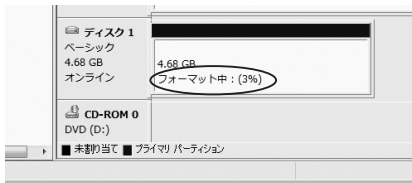
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.

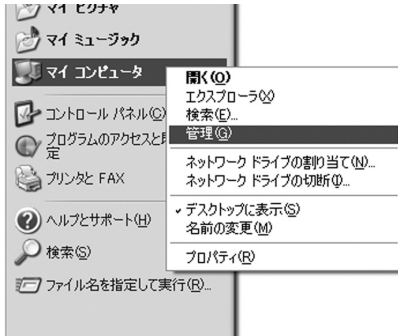


これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

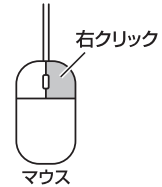
□ Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

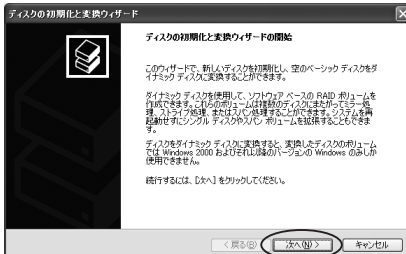
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

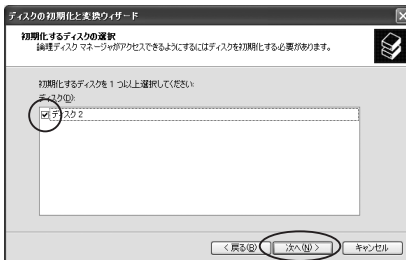


2.



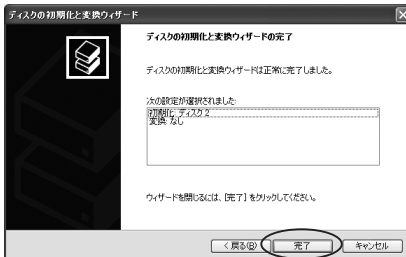
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



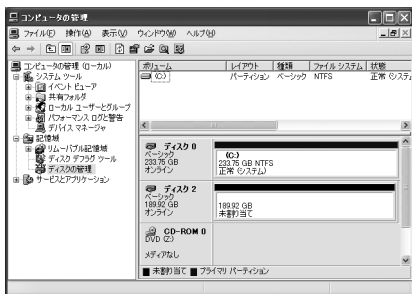
「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



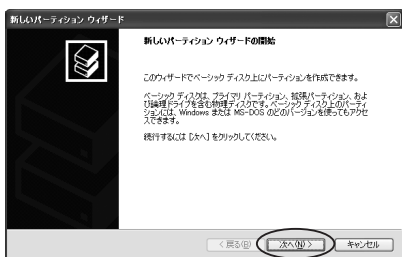
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



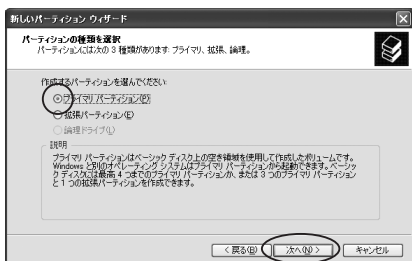
次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。

6.



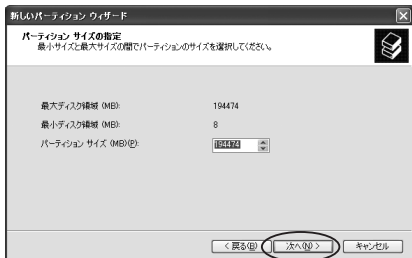
「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

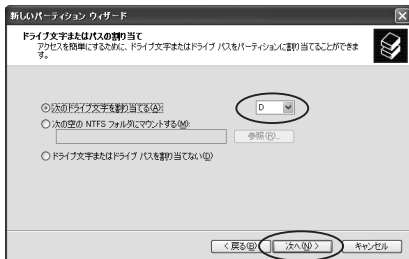
8.



「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.



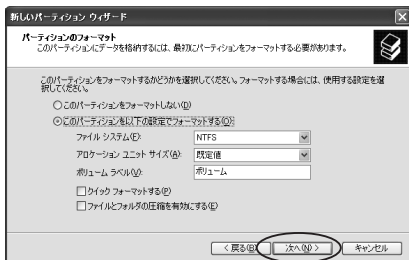
【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

・アロケーションユニットサイズ

アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

・ボリュームラベル

「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

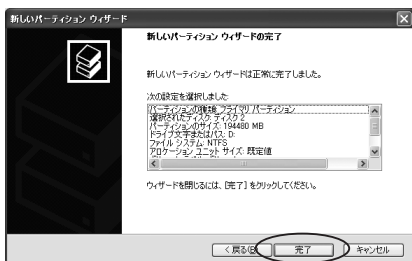
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。

ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。

詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

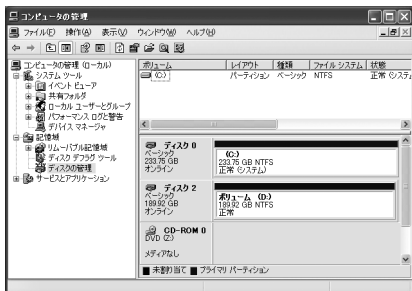
すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウインドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行っててください。



フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります

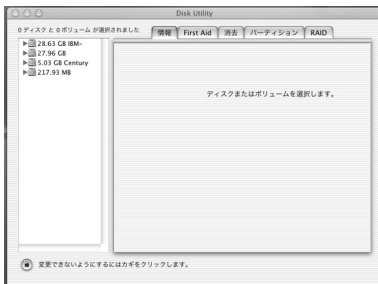
□ Macでの使用方法

MacOS XではMacOS標準のドライバを使用します。

※あらかじめMacOS9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※ 「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。

左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

本製品は「xx GB Century」と表示されます。

(xxは接続したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。

8つまで分割して作成することが可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

: 作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMacOS標準がMacOS拡張を選択してください。

サイズ

: 作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

: MacOS9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS9で動作するドライバをインストールします。

分割

: 選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

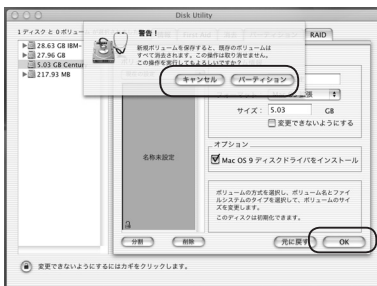
削除

: 選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

: 直前の変更を元に戻します。

4.



全て決定したら右下の「OK」をクリックします。警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【巻末付録2】

困ったときは

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな？」とお困りのときは以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

【全般】

■ 電源が入らない

- ・付属の専用ACアダプター、専用ACケーブルが正しく接続されているか確認してください。
付属品以外のACアダプター、ACケーブルを使用すると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属品を使用してください。

■ 本体に内蔵したHDDが認識されない

- ・HDDが正常に取り付けられているかを確認してください。
→ P.4 ~ P.8 3.5"/2.5" HDDの取り付け方法
正常に取り付けられている場合、電源オン時HDDに対応したLEDが青色に点灯します。
→ P.2 各部の名称

【REGZAとの接続】

■ HDDが認識されない

- ・USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・本製品に組み込んだHDDをREGZAの録画に使用するためには、HDDをREGZAの録画専用初期化する必要があります。
初期化方法につきましてはお手持ちのREGZAの取扱説明書をご確認ください。
- ・本製品にはUSBハブが内蔵されているため、REGZAと本製品の間に別のUSBハブを中継するとHDDが認識なくなります。USBハブを使用せず、直接本製品を接続してご使用ください。

■ 録画/再生できない

- ・ご使用のHDDによっては正常に録画できない場合があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
購入前またはお手持ちのHDDについてご不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでご相談ください。

【PlayStation3<torne>との接続】

■ HDDが認識されない

- ・USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・本製品に組み込んだHDDをtorneの録画に使用するためには、HDDをFAT32形式でフォーマットを行う必要があります。
フォーマット方法については本取扱説明書P.15「必ずお読みください」をご確認ください。
- ・本製品にはUSBハブが内蔵されているため、PlayStation3と本製品の間に別のUSBハブを中継するとHDDが認識しなくなります。USBハブを使用せず、直接本製品を接続してご使用ください。

■ 録画/再生できない、コマ落ちする

- ・ご使用のHDDによっては正常に録画できない場合があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・弊社のテスト環境にて4KBセクタ採用のHDD（WesternDigitalAdvanced Format Technology等）を使用した場合、再生時にコマ落ちすることを確認しております。
購入前またはお手持ちのHDDについてご不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでご相談ください。

■ 予約録画に失敗する

- ・ご使用のHDDによっては、HDDの回転開始から録画までが間に合わず、録画エラーになる場合があります。この現象は本製品とHDD個体の組み合わせ、かつHDDの使用頻度等によっても変化するため、確実に問題ない組み合わせを弊社からご案内することはできません。
予約録画を行う際は、使用者立会いの元でテストを行い、ちゃんと録画ができているかを確認してから運用してください。

【PCとの接続】

■ HDDが認識されない

- ・USBケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- ・PCによっては接続したままOSを起動すると認識しないものがあるため、OS起動後にUSBを接続しなおしてください。
- ・新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
巻末付録【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】をご確認の上、初期化の作業を行ってください。

■ 既にデータの入ったHDDを接続したが、マイコンピュータ内にHDDアイコンが表示されない

- ・内蔵専用のダイナミックディスク形式や、特殊なフォーマット形式だった場合、そのまま使用できない場合があります。この場合は元の装置にHDDを戻し、データのバックアップ後、再度本製品に接続してHDDの初期化を行ってください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市^{とよふたおきはら}十^と余^よ二^{ふた}翁^{おき}原^{はら}240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】 <http://www.century.co.jp>

【Mail】 support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。

どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましたのアンケート～

【URL】 <http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.